

極北の大自然から生まれた
北欧モダンデザインの
かたち

TAPIO

THE SCULPTOR
OF
ULTIMA THULE

タピオ・ヴィルカラ
世界の果て

2026.
6.26(金)

8.31(月)

開館時間： 10:00 - 日没後30分

(展示室への入場は日没時刻まで)

休館日： 火曜日 (ただし、8月11日は開館)

主催： 島根県立美術館、TSKさんいん中央テレビ、

山陰中央新報社、SPSしまねグループ

企画協力： エスポー近代美術館、

タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団、

ブルーシープ

特別協力： イッタラ

後援： フィンランド大使館、フィンランドセンター、

朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、

読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社、

新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、

BSS山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰、

山陰ケーブルビジョン



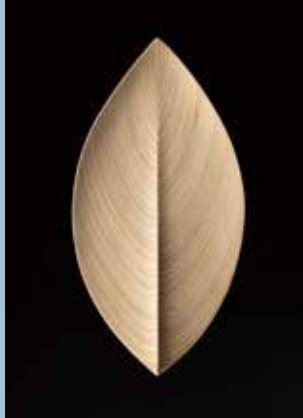
WIRKKALA

©Tapio Wirkkala, Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art
©RUVASTO, Helsingki & JASPAR, Tokyo, 2024 C4780



タピオ・ヴィルカラ、1980年代

© Maaria Wirkkala. Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art



《レヒティヴァティ/リーフ・ディッシュ》
1950年代

Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA



《ウルティマ・ツール (ドリンキング・グラスのセット)》
1968年

Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA



《リントウ》1968年

Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art. © Ari Karttunen / EMMA



《カンタレリ / アンズダケ》1946年

Collection Kakkonen. © Rauno Träskelin

THE SCULPTOR OF *ULTIMA THULE*

フィンランドのモダンデザイン界で圧倒的な存在感を放つタピオ・ヴィルカラ (1915-1985)。1946年にガラス製造会社イッタラのデザインコンペ優勝を機に同社のデザイナーに起用され、以後、約40年にわたり第一線で活躍しました。デザインの対象はガラスのほか磁器、銀食器、宝飾品、照明、家具、紙幣、グラフィック、空間にまでおよびます。ヴィルカラは、あらゆる素材に向き合い、触覚と視覚を鋭く働かせて、洗練されたフォルムを生みだしました。

その制作には、フィンランドの最北地ラップランドにも居を構えたことが、重要な意味を持ちました。セラミック・アーティストの妻ルート・ブリュックとともに別荘を設けたラップランドには、心臓の鼓動が聞こえるほどの静寂と手つかずの原野がありました。そのなかで感じた生命の神秘や大自然の躍動を着想源に、「ウルティマ・ツール」(ラテン語で「世界の最北」を表す言葉)をはじめとするプロダクト・デザインの名作が生まれたのです。また、神話をモチーフにしたガラスのオブジェや、自ら開発した積層合板を用いたオブジェには、プロダクト・デザイナーとは異なる表現者の顔もどきます。

本展は生誕110年と没後40年を記念して企画された日本初回顧展で、全国4会場を巡回開催するものです。エスポー近代美術館、タピオ・ヴィルカールート・ブリュック財団およびコレクション・カッコネンから厳選したプロダクトとオブジェ等約300点を、その制作過程や背景を明かすドローイング(複写)や写真とともに展示し、北欧モダンデザインの巨匠タピオ・ヴィルカラの魅力に迫ります。



《ボルレ》1966年

Tapio Wirkkala, *Bolle*, 1966-1967. Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art. © Archivio Venini

記念講演会 聴講無料

「北欧デザインの基礎知識」
7月12日(日) 14:00 - (13:30開場 / 約90分)
講師: 渡部千春 (東京造形大学教授)
会場: ホール (190席・当日先着順)

ギャラリートーク 要企画展観覧料

6月28日(日)、7月20日(月・祝)、8月22日(土)
各日 14:00 -
会場: 企画展示室

美術館キネマ 鑑賞無料

「劇場版 ムーミン谷の彗星 パペット・アニメーション」
(2010年製作 / 75分 / フィンランド・ポーランド・オーストリア合作)
8月9日(日) ①10:30 - ②14:00 - (各回30分前開場)
会場: 美術館ホール (190席・当日先着順)

※このほかにもイベントを予定しています。
最新の情報は当館ホームページをご確認ください。

かぞくの時間

子どもといっしょの鑑賞優先時間 [10:00 - 12:00]
作品についてお子様とおはなししながら鑑賞いただけます。

観覧料

● オンラインチケット・ローソンチケット

[企画展・コレクション展セット]
一般1,400円 / 大学生830円 / 小中高生300円

2026年5月25日から販売。オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます(ローソンチケット/Lコード63405)

● 当日券 ()内は20名以上の団体料金

[企画展・コレクション展セット]
一般1,500円(1,200円) / 大学生930円(740円) / 小中高生400円(320円)

[企画展のみ]
一般1,300円(1,040円) / 大学生800円(640円) / 小中高生400円(320円)

・未就学児無料・小中高生の学校教育活動での観覧は無料 ・身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料



オンラインチケットの購入はこちらから



交通案内

- JR松江駅から徒歩約15分
- JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分 → [県立美術館前]下車
- 観光ループバス(レイクライン) → [県立美術館前]下車
- 山陰道 → 松江西ランプから車で約5分

駐車場

国道9号袖師交差点南進(駐車場より地下道をご利用ください)
※3時間まで無料

次回企画展予告

「アーツ・アンド・クラフツとデザイン
ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」
9月11日(金) - 11月3日(火・祝)

ふたつ見て、もらおう。 要企画展観覧料

本展と島根県立石見美術館「カイ・フランク」展の両方をご覧の方に展覧会グッズをプレゼント。企画展入口でスタンプカードを配布します。プレゼントが無くなり次第終了します。

「カイ・フランク 時代を超えるフィンランド・デザイン」

ヴィルカラと同じくフィンランドを代表するデザイナー、カイ・フランクの大規模企画展
島根県立石見美術館(益田市) 6月27日(土) ~ 9月6日(日)



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL:0852-55-4700
https://www.shimane-art-museum.jp